

鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第24号

発行 2013年05月15日

発行人 中村 晃

九州の風景写真

石原 晋一郎

カネカに勤務して関西人になりましたが、その内15年は九州カネカロンに単身赴任していましたが九州は第2の故郷になった思いです。

九州で覚えた写真撮影と陶芸は今も続けておりますが、一昨年からは熊本、大分、長崎の風景を撮影する様になりました。こちらの写真愛好家は直ぐに長野や北海道に行きますが、私は九州には素晴らしい風景が沢山残されていますので、残された時間に九州の風景をできるだけ撮影したいと願っています。その一部を地元の皆様にもお届けします。

趣味としての写真を始めたのも九州ですがその経緯は以前に投稿した「カメラと私」(注1)を参考にお読みくださいれば幸いです。今回は昨年からは写真仲間を案内して撮った写真を紹介します。

「由布川溪谷」

以前から一度行ってみたいと思っていた所ですが当時は未開の地で道がなく迷うと出られないので危険だと聞かされて断念した記憶がありました。

最近地元の写真家がこの溪谷で撮った写真を出すようになりまして、一昨年調査に行きました。その写真を仲間にみせたところ是非案内してほしいという事になり、昨年4名で出かけました時の作品です。

川の左右に約30Mの岩の壁が続き入口は2ヶ所しかなく河原道と川の中を歩かねばなりません、深いところは腰から胸までの深さがあつて悪戦苦闘して撮ってきた作品です。しかしすばらしいシヤターチャンスに恵まれましたが、まだまだ奥深い地区にめずらしい風景が残されています。



朝日を浴びる溪谷



梅雨の溪谷

「隠れキリシタンの島」

五島列島には戦国の世から隠れキリシタンの歴史が残されています。300年近い迫害に耐えて明治になって復活した教会群です。

今世界遺産として遺す運動も長崎地区で進められています。私が所属している日本風景写真協会の企画で「遺したい日本の風景」という企画があり我々の視野から消えてゆく自然を後世に残してゆく運動です。

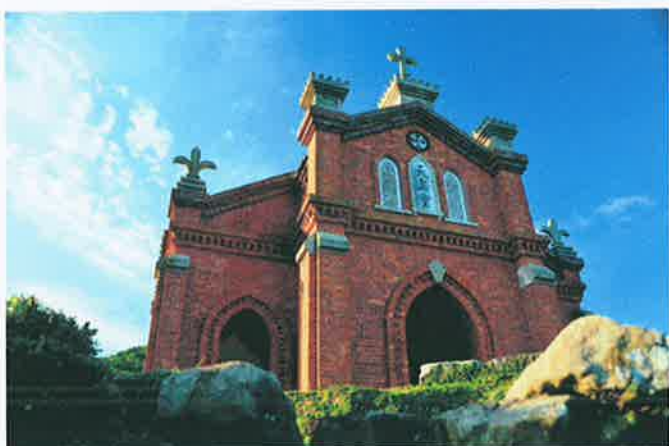
以前に「橋」というテーマで入選しました。昨年は「レンガ造り」というテーマですぐにこの地区に残された教会群を目標にして撮影応募しました。2回目の採用が決まって近く写真集が出版されます。

その時の撮影紀行を「隠れキリスタンの島」(注2)として投稿しましたので興味ある方はお読みください。採用された写真は無人島になった野首教会堂、原爆に見舞われた煉瓦を使った鯛ノ浦教会の鐘塔、の2点です。

写真だけでなくこの地区の歴史に興味を持ちまして、当時の実情を学びました。6月のカネカクラブ懇話会(伊藤良一会員が主催)にてしやべりますので、今その準備にも取り掛かっています。



鯛ノ浦教会鐘塔



無人島になった野首教会

「有明海の干潟風景」

今年2月、後藤祐吉さんの案内で撮影を企画していた熊本県宇土市御輿来(おこしき)海岸の干潟の写真です。この計画は、直前に後藤さんが倒れられ一緒に出来なかったのは悔やまれます。九州に来て鐘華会九州支部設立以来色々とお世話になり、ご趣味の写真撮影の面でも大変お世話になりました。

心残りではありますが、ご墓前に供えたい気持ちで掲載し、併せて個人のご冥福を祈りたいと願っています。私の所属するフォトジョイ写真クラブの写真展が6/18~23 奈良県文化会館で行われますがそこにも出展する予定です。



干潟と夕日



干潟模様

「熊本周辺の風景」



熊本城

後藤さんが、こよなく愛した熊本の風景は後藤さんの様には良い写真が取れませんが、故人をしのぶ写真を入れたと思いました。

熊本の町には熊本城があります。毎年九州支部で行う例会で以前後藤さんに詳しくご案内頂いたことがあり熊本城周辺の貴重な場所を御案内して頂きましたことを思い出します。

今回は水前寺公園の続きにある江津湖という名所があり、「朝もや」のかかる風景は絶景で後藤さんにご案内頂くことになっていました。代わりに川上さんにご案内頂き、友人3名と九州の撮影を無事に行うことができました。

本当にありがとうございました。残念ながら江津湖の朝霧の景色は撮りませんでした。何時か撮りたいと思っています。

今回は小国町の裏見の滝と熊本城を紹介します。まだまだ九州で撮りたい自然の風景写真は多い。至る所にある棚田。冠雪した阿蘇、久住連山の広大な景色、久住大船、平治岳のミヤマキリシマ。知られざる滝など魅力的な自然が残されている。時間が許す限り続けたいと思っています。



鍋の滝 (熊本県小国町)



同上 (裏から)

注1 「カメラと私」

注2 「隠れキリシタンの島」

希望者は中村晃まで連絡ください。

(川上義人さんからの便り)

石原さんの写真撮影に同行する件で、後藤さんと倒れる前日の2月4日に電話で、2月8日にお伺いするようにお話をしたばかりでした。

13日には宇土半島の興来海岸の干潟の撮影、14日には江津湖の朝霧、高森町の月廻り公園からの阿蘇山、雪の久住山を南北から撮影し、その夜の宿泊先を決める為に、後藤さんはわざわざ本を買ってきたそうです。

あれだけ元気でおられたのに、病院に3回お見舞いしましたが、3回とも「いびき」が聞こえるだけでした。

誠に残念です！

近況報告（職場訪問の返信）

石原 晋一郎

5～6月にかけてカネクラブの行事が詰まっています、その準備のために出席できません。後藤様にも色々ご指導を受けて2月に九州地区の撮影に出かけました。後藤様のご恩に報いるためにその写真の一部を九州支部の皆さまにお伝えしようと思っています。

成相 定雄

桜の開花と共にやっと炬燵から蠢きだしましたが、今年に入り1週間で4日で過ごす毎日が続いています。庭仕事等活動を続け活力維持に努めています。

坂元 均

今回は都合がつかせませんので欠席させていただきます。春の訪れと共にゴルフの回数が増えてきましたが、なぜかダブルペリアの隠しホールが思うように当たりません。(打ち分けが肝要か?)

武田 敏光

元気にやっています。3日/週の休日を楽しみ、忙しく過ごしております。

西村 和夫

お陰さまで引き続き仕事に励んでいます。会社(九州カネライト)の前を新幹線が通るのも馴染んできたようです。在来線の1/5位静かです。

上野 賢二

- ① 3/31 横浜にて長女が結婚しました。
- ② 2/11の「城島酒蔵びらき」は来場者7万人と過去最高となり、来年は2日間開催することになりました。また、実行委員長です。

岩出 進

地域の方と健康維持の為に適度な運動(テニス等)を行い、心身ともに健やかな日々を過ごしております。

池田 広治

雑事多忙につき失礼します。後藤さんが亡くなられて、さびしいかぎりです。

山中 俊一

心不全で体の調子が思わしくありませんので欠席させていただきます。

薬師寺 是文

まだ建設業協会の席にいます。故郷の津久見市へ1人で帰って今年で10年となりました。建設業会での勤務もそろそろ年貢の納め時かと考えています。

永井 辰夫

定年延長で4月30日までの勤務となりました。

社員大会で休めない状態です。売り上げが順調なら2年間の延長もあったのですが、ノルマ達成出来ず残念!! TPP参加で米の価格が心配ですが、減農薬でおいしい米作りに頑張ります。

川上 義人

詫麻ゴルフシニア会の会長を受けることとなり、毎月案内状の往復ハガキの作成、組み合わせ、馬券の作成、出納簿等、慣れないパソコンと悪戦苦闘しています。また、92才のお袋の面倒をみる為、1,2,3月と伊予西条まで行ったり来たりと大変です。

一木 丞

1月に知覧特攻平和会館へ行って来ました。10数年振りの2回目の訪問でした。特攻会館を訪ねると戦争のむなしさ、平和の大切さ、ありがたさ、命の尊さを改めて感じるものがありました。

橋本 滋

昨12月9日、次女がお産の為、3才の孫を連れて来福。1月10日無事8番目の孫誕生。3月10日やっとお宮参りの為帰京。4ヶ月間のイクジー生活。老夫婦共に全く疲れ果てました。矢張り「孫は来て嬉しい、帰って嬉しい」ですね。

王子 常雄

前回は、不覚にも「めまい」で欠席しましたが、今回はゴルフコンペには出席させていただきます。このところ、毎日早足で3km以上は歩くようにしています。

高木 健

昨年の豪雨の影響も少なく筑後広域公園周辺の桜並木は今年も満開となり、季節を楽しませてくれました。皆さんとお会い出来るのを楽しみにしています。

真部 邦則

梅、桜、チューリップと針の花が次々と咲いています。自然の色の移り変わりの中で友人達とゴルフを楽しんでいますが、健康のありがたさを感じています。

廣政 誠

美味しい食事と酒、適度な運動。変化の少ない日々。

江崎 芳男

九州と大阪の2社を兼務しております。バタバタと忙しくやっております。

(続く)

園 博

早いもので6月には63才になります。仕事の方もまだ何か役に立てるものがあると思い、営業に邁進しています。私生活の方では孫の成長を楽しみに過ごしている日々です。

樽崎 賢治

退職後はや16年たち喜寿を迎え、鐘華会よりお祝いを戴き感謝しています。右足大腿部の閉塞性動脈硬化症でプレタール錠を採用しています。他の薬もあり薬三昧の生活です。

上野 與志隆

フォームを決めようと、アーデモナイ、コーデモナイと繰り返すゴルフスイング。ボールは主人の気持ちも知らず、アッチへ、コッチへ。以上が今日此の頃です。

常森 喬紀

今年が乗るかそるかの勝負の年で、365日出勤状態で、関東から九州までとび回っています。経産省の委託事業の成果も加え、カネライトフォームを使った省エネパネルシステムも実績が出始め攻めの体制に入っています。「攻め」と言っても、何せ中小企業の事、薄氷の上を猛スピードで走っているようなものです。昨秋からカネカの永野専務やカネカソーラー販売の八田社長など相次いで来山戴き、カネカソーラーの山口県での展開について、お手伝いもさせていただき、更には当社とカネカの商品のパッケージ商品化や「創エネ建築」へ向けてのトライアルも始めています。いつ会社をつぶすか、心配な事ですが「いいじゃないですか、それでも」とでも思っていないと中小企業で開発を挑戦し続けるのは大変です。喜寿まではガンバルぞ！「愛妻」もガンバッテ支えてくれています。

(新 入 会 員 自 己 紹 介)

平成24年11月に鐘華会九州支部に入会させていただきました**坂本 正志**です。

生まれは四国愛媛県松山市の隣町である重信町で産湯を浸かり、自然いっぱいの風土豊かな所で育ちました。

入社は昭和46年3月に高砂工業所に入り、カネカロン製造部に配属となり3交代にてアセトン臭に酔いしれた毎日でした。約10年間カネカロンの製造に携わり、その後、カネカロンの新組織で設備研究Gが

設立され、そのメンバーとして製造の経験を生かした、改善活動、革新プロセス研究と今まで違った発想からの開発研究をやらせてもらいました。

3年間在籍しその間に蓄積した知見は、その後の業務に多いに活用できました。

カネカロン事業部から現在の食品事業部への移動は自己申告にてカネカ食品出向で松山支店勤務を希望していた為大転換となりました。

出向するにあたり食品事業部の基礎を勉強するために神戸商品研究室に勤務となり、洋菓子基礎・パンの基礎について学び、その中の洋菓子について専門的に5年間取り組みました。昭和64年に洋菓子技術者として中国カネカ食品に出向が広島となり、高砂から家族共々広島に移り生活がスタートしました。

目標の松山支店勤務に近づいたが、2年半で九州カネカ食品転勤となり長い単身赴任がスタートしました。

九州カネカ食品では鳥栖に技術サービスの拠点が在ったため、鳥栖の隣の小郡市に単身赴任住居を構え約20年において福岡在住で九州エリアの菓子ユーザー開拓に注力してきました。

九州全体の菓子ユーザーとの菓子の協同開発等に取り組んだ結果、色々な多くの菓子を市場に出すことが出来た。

この取り組みにて九州の良さを身にしみて感じさせていただいた。地域の人情の厚さ、気候にも恵まれ、食べ物を美味しい、温泉を多く、生活するにはベストな地域と感じました。

今回、定年に迎り鐘華会入会を考えた時、迷わず、九州支部にお世話になると決めさせていただきました。

今後ともに宜しくお願い致します。



職 場 訪 問

4月16日（火）に鳥栖から移転した新しい博多の九州カネカ食品販売（株）にて開催。

田舎者の小生は迷子になりかけ！携帯電話を頼りに漸く到着。

恒例の九州地区のカネカ関連会社の現状を聴かせてもらった。

九州カネライト（株）高木社長より、製品説明・24年度達成状況・25年度事業計画など。

九州カネカ食品（株）江崎社長より26期中期計画見直し・5年間倍増計画・契約満期など。

2社の真剣な取り組みと努力を聴かせていただくと、アベノミクスとかで世の中が喜んでる向きもあるが、反面円安一つとっても原料高でコストダウンを余儀なくさせられる。為替レートはどのくらいがいいのか？などと普段あまり使わない老化した脳の錆が少し無くなるようであった。

また毎日の何気なくいただく食についても色々とお開発努力が続けられていることを知って、今後が楽しみです。

今回は鐘華会からの出席者が6名（現職を除く）と少なく、寂しく且つ説明の方々に申し訳ない気持ちです。

しかし後の懇親会ではワイワイ・ガヤガヤ安くて美味しい料理と飲み放題の酒に大いに盛り上がりました。

関連会社の益々の発展を祈念申し上げます。

廣政 誠 記



第9回 山九会 ゴルフ 他



16日池野さんを連れて「伊都国歴史博物館」に行きましたが、館長初めボランティアの説明員の方々に大変な歓迎を受け、しかも、銅鏡等古代の国宝級の品々が沢山展示されており、池野さんは上古の伊都国を理解して大感激でした。

また、17日は朝の往路では、土砂降りの雨で心配していましたが、ゴルフ場について晴れだし、志摩海岸の景色は最高で、楽しいラウンドをすることが出来ました。

成績は以下の通りですが、広政・真鍋と他の4人との2極分化のゲームとなりました。

- ・開催日：平成25年4月17日
- ・開催場所：志摩シーサイドカントリークラブ
- ・競技方式：ダブルペリア方式

順位	氏名	NET	備考
優勝	上野 與志隆	71.6	ハンディに助けられたがバラツキ大
②	廣政 誠	73.8	逆風を克服。安定感抜群
③	橋本 滋	77.0	雨上がりのフェアウェイをコントロール
④	真部 邦則	77.2	雨上がりのコースに泣く。後半は風に泣く
⑤	王寺 常雄	78.6	腰痛回復もノータッチに苦戦
⑥	池野 治彦	79.0	ショットは安定するも、パターに苦戦

上野 與志隆 記

〔平成 25 年度支部活動報告〕

◇ 既実施した行事

年	月	日	活動内容
25	01	25	(鐘華会役員会)
	02	01	(鐘華 68 号)
	02	20	支部幹事会 (黒崎にて)
	04	16	職場訪問・懇親会 (12 名)
	04	17	第 9 回山九会ゴルフコンペ (6 名)

◇ これからの予定

年	月	日	活動予定
25	05	15	支部だより 24 号発行
	08	01	(鐘華 69 号)
	08		支部幹事会 (福岡にて)
	10		ハイキング又はウォーキング
	11	07	第 14 回支部例会
	11	08	第 10 回山九会ゴルフコンペ

(特記事項)

- 九州支部は平成 12 年 10 月 5 日に設立総会開催。その後、毎年例会を実施。平成 25 年度は第 14 回。
- 例会日程は確定ではありませんが、予定願います。

(会員の移動)

〔謹んでお悔やみ申し上げます〕



・後藤 祐吉さん

平成 25 年 2 月 20 日逝去
満 83 歳

* 新会員 坂本 正志さん (平成 24 年 11 月)

〔支部活動費 24 年度報告及び 25 年度予算〕

項目	24 予算	24 実績	25 予算
支部だより送料他	10,000	11,542	11,000
例会写真代他	3,000	3,916	4,000
職場訪問通信費	3,000	4,528	5,000
幹事会交通費補助	4,000	4,000	4,000
例会通信費	4,000	5,310	6,000
その他	0	480	0
合計	24,000	29,776	30,000

あとがき

- 何度かのガン手術から不死鳥のごとく蘇って、元気だった後藤さんが、突然亡くなりました。誠に残念です。川上さんからの連絡で撮影旅行の打合せの最中に倒れられたことを知り、追悼も兼ねて石原さんに「九州の風景写真」をお願いしました。心よりご冥福をお祈りいたします。
- 坂本正志さんが新加入されました。単身赴任 20 年、石原さんと同じく九州が第 2 の故郷になられたようです。支部活動にも、新製品開発のように、新風を吹き込んでもらいたいものです。
- 会員の高齢化もあって、最近支部活動が沈滞気味です。何か楽しい企画を皆で考えていきたいものです。
- 「アベノミクス」は順調に滑り出したようですが、カネカの株価がもっと上がる事を期待しています。

〔定例役員会報告〕

◇ 平成 25 年 1 月 25 日、カネカクラブにて定例役員会が開催された。

◇ 主な内容は下記のとおりです。

① 山崎会長挨拶

- 入会金は香資料、入会補助金は喜寿・米寿のお祝いに充填し、入会補助金の残り与会費で運営すれば、当面基金の取り崩しの必要はない。
- HP も編集委員のメンバーも決まり、充実してきた。
- H25 年度は入会者が約 110 名と多いが、それ以降は減少傾向になる。

② 各支部活動報告、活動計画について (高砂)

- メールアドレスの登録者が増加した。H26 年は高砂市議選があるので、それを考慮して例会を運営する。

(大阪)

- 定年退職者へ鐘華会の説明を実施した。H25 年度摂津市市議選がある。それを考慮して例会を八月に開催予定。

(滋賀)

- ハイキング同好会は歩く距離をもう少し短いコースを検討したい。グランドゴルフ活動も今後検討する。

(鹿島)

- 支部長交代：吉永尚平さん→田中文雄さん (本社)

- 支部長交代：大西優さん→島洋一さん (東京)

- 活動費の 60% が香資料、30% が通信費。 (九州)

- 2 名の方 (高木さん、江崎さん) が支部活動に参加。

③ H25 年度予算案

- 高砂、本社、滋賀は提出された額を反映させた。その他の支部は昨年実績とした。

④ その他

- 香資料を受け取らない場合があるが、その対応は支部長の裁量に一任する。

- 年末の支部会計報告に郵便局からの通知書を同封して欲しい。(会計監査で指摘)

- 会計監査：平野義郎さん→長谷川秀司さん